

発行

(公財) 暴力団壊滅秋田県民会議

(秋田県暴力追放運動推進センター)

〒 010-0922 秋田市旭北栄町1-5

☎ 018-824-8989 FAX 018-824-8990

「 !! 事件簿 !! 」

「全国における最近の暴力団事件・検挙事例等について」

- 山口組の直参幹部ら7人逮捕、特殊詐欺グループを主導か
金融庁職員や銀行員を装い、還付金を受け取れるなどと言って現金をだまし取ったとして、警視庁などは、指定暴力団山口組の二次団体幹部(56)や組員ら7人を逮捕した
同組トップは山口組に約50人いる「直参」と呼ばれる幹部の一人。警視庁は容疑者が特殊詐欺グループを統括し、一部が組の収入源になっていたとみている
山口組関係者は「上まで逮捕されないのは『下が勝手にやっている』と言い訳できるよう通話履歴など一切残さないよう徹底してるから、幹部が逮捕されると組織としては打撃」と話す
2018.10.3 朝日新聞DIGITAL
- 特殊詐欺“統括役”逮捕、山口組総本部搜索
特殊詐欺グループの統括役とみられる暴力団幹部が逮捕された事件で、警視庁などは、山口組の総本部へ家宅搜索に入った
家宅搜索を受けているのは、神戸市にある指定暴力団「六代目山口組」の総本部
警視庁によると、特殊詐欺事件で山口組の総本部が家宅搜索を受けるのは初めてだという
2018.10.9 livedoorニュース
- 工藤会最大の二次団体の実働組員数が9割減、壊滅作戦に一定の効果
北九州市にある特定危険指定暴力団工藤会の総裁の出身母体「田中組」
実働組員数が、福岡県警による摘発や離脱で約150人から20人弱に減った
県警の工藤会壊滅作戦が2014年9月11日に始まって間もなく4年になる
2018.9.9 livedoorニュース
- 組抜け相次ぐ工藤会の現状、元組員「やってられない」
2014年に始まった壊滅作戦以降、北九州市の暴力団工藤会の組員数は半減した
以前は服役中に毎月数十万円の「見舞金」が家族に支払われていたと元組員
「今では数万円程度、もらっていない人間もいる、やってられない」と語った
2018.9.9 livedoorニュース

反社勢力及び悪質クレーマーに対する対応要領 ⑩

(8) 妥協せず、筋を通した対応

- 不当な要求には妥協することなく、組織の方針に従って筋を通した対応をし、「そのような要求には応じられません」などと、はっきり拒絶する
- 法令や社内規則に照らして、応じられる要求と応じられない要求の選別をする



※ 不当な要求に一度でも応じると、反復して狙われることになる

対応例

☆ 結論を求められる言動に対して

反社～「すぐに回答しろ！」等

対応～「会社として、事実確認していないものは対応(回答)できません」

「私個人では回答できませんので、事実を確認したうえで会社としてお答えすることになります」

「会社としての手続きが必要ですので、この場では即答できません」

※ 平静を保ち相手の威圧的な態度に屈しない

反社～「お前のところはどうなっているんだ！」等

対応～「事実関係を確認し、調査した上で対応させていただきます」

「お客様はどちら様にも同じ対応をさせていただいておりますので、事実を確認し、お答えします」

※ 「前向きに検討します」など期待を持たせるような曖昧な回答はしない

☆ マスコミや監督官庁等に訴える等に対して

反社～「マスコミに訴える」「ネットに流すぞ」「役所に言ってやる」「裁判に訴えてもいいんだぞ」等

対応～「それについては、そちら様で判断されることですから、当方としてはとやかく言う立場ではありません」

「そちら様の行うことに口出しできる立場ではありません」

※ 不安な態度で、「それは困ります」「どうすれば止めてもらえますか」等の言動は相手を勢いづかせる原因となる



※ 県民会議・相談専用電話 0120-893-184 (0120-ヤクザ-イヤヨ)